

## 1. セッション名

宇宙開発を支える CAE 技術最先端

## 2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号／メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
	江川 みち	エムエスシーソフトウェア株式会社	

## 3. 概要

コンピュータやソフトウェアのコストならびに性能向上により、CAE の活用が進んでいます。構造解析や熱解析など多くの数値解析が宇宙機器の開発においても行われており、アポロ計画以降、宇宙開発において CAE 技術は必要不可欠な分野となっております。本セッションでは、昨年度多くの質問を受けました膜展開を含む連成解析技術などを用いた展開や変形解析、構造と流体の連成解析、音響解析など、宇宙開発を対象として行った解析事例などを紹介するとともに、CAE の最先端技術について発表する。

## 4. セッション構成、発表件数

1セッションにて4件の発表を希望します。宇宙開発において注目・利用されている CAE 技術について、具体的な数値解析事例を含め紹介する予定です。

## 5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

セッション#	著者	所属	講演登録番号
1 構造－機構連成解析による不安定構造物の展開解析	立石 源治	エムエスシーソフトウェア株式会社	
2 機構・構造－流体連成解析システムの宇宙構造物への適用	畠澤 作二郎	エムエスシーソフトウェア株式会社	
3 ロケット打ち上げ時の音響加振による構造への影響について	齋藤 正毅	エムエスシーソフトウェア株式会社	

4 scFLOW V14 Density-Based Coupled Solver による 流体解析の宇宙業界へ の適用事例ご紹介	藤山 敬太	株式会社ソフトウェアクレイドル	
---	-------	-----------------	--